

小金井市下水道使用料審議会

第6回審議会資料

平成29年7月24日

東京都小金井市

目 次

1.	下水道使用料体系について.....	1
1.1.	周辺自治体の使用料体系について.....	1
1.2.	小金井市の基本水量について.....	2
1.3.	一般家庭の使用実態について.....	2
1.4.	水量区分について	3
2.	長期財政シミュレーション.....	4
2.1.	ケース概要	4
2.2.	長期財政シミュレーション結果.....	5
2.3.	各ケースの比較	10
2.3.1.	改定率の推移	10
2.3.2.	基金残高の推移	11
2.3.3.	使用料単価の推移.....	12
2.3.4.	経費回収率の推移.....	13
2.3.5.	下水道使用料のモデルケース.....	14
2.4.	周辺自治体の使用料体系との比較.....	15
3.	審議会スケジュール	19
3.1.	審議会スケジュール.....	19

1. 下水道使用料体系について

1.1. 周辺自治体の使用料体系について

小金井市周辺の自治体では、東京都 23 区部の他に、近年下水道使用料体系を改定した三鷹市、武蔵野市、西東京市が基本水量を 8m³としています。

三鷹市は平成 26 年度に、武蔵野市、西東京市は平成 23 年度に基本水量をそれまでの 10m³から 8m³に切り下げるとともに、30m³の区切りを増やしています。

以上のことから、近年使用料改定を実施している周辺自治体の使用料体系の変更の動向をみると、基本水量を 8m³/月に下げ、21~30m³/月、31~50m³/月の水量区分を新たに設定しているといえます。

※別紙 1（下水道使用料改定時の各自治体の広報）

表 1.1-1 周辺自治体の料金体系（従量単価）の比較（平成 28 年 11 月末時点）

項目/市名	小金井市	23区	三鷹市	武蔵野市	西東京市	調布市	国分寺市	府中市	小平市	
現行使用料 施行年月日	H.12. 4. 1	H.10. 6. 1	H.26. 4. 1	H.28. 4. 1	H.23.10. 1	H.12. 4. 1	H.16. 1. 1	H.17. 7. 1	H.14. 4. 1	
基本使用料(円) (基本水量)	350 (10m ³ /月)	560 (8m ³ /月)	400 (8m ³ /月)	470 (8m ³ /月)	410 (8m ³ /月)	350 (10m ³ /月)	545 (10m ³ /月)	266 (10m ³ /月)	455 (10m ³ /月)	
従量 単価 (円/m ³)	8									
	10		110	62	50	88				
	20	70					81	100	56	
	30	105	140	86	60	126	98	115	76	
	50		170	97	70	157		125		
	100	135	200	126	80	189	125	170	95	155
	200	170	230	144	95	239	144	200	116	175
	500	210	270	204	110	283	172	240	141	210
	1,000	250	310	245	135	306	201	280	166	250
	2,000	290	345	283	190	328	227	330	192	285
5,000	308									
累進度	4.1	3.1	5.0	3.8	3.7	2.8	3.3	3.4	2.7	

1.2. 小金井市の基本水量について

現在の小金井下水道の基本水量は10m³/月ですが、毎月の使用水量が10m³/月に満たない利用者にとっては、使用しない分を多く支払っているような不公平感を抱くことが考えられます。

小金井市の下水道計画値を基に、1人が1日に使用する水量^{*}を算出すると、約8m³となります。

そのため、基本水量は8m³/月に下げることが適切と考えられます。

^{*}小金井市の下水道計画では1人1日あたりの汚水量は265L/人/日（三鷹市や武蔵野市などと同値）としており、1か月あたり約8m³の汚水量が見込まれます。

(265 L/人/日×30 日/月=7,950 L/人/月=7.95m³/人/月)

1.3. 一般家庭の使用実態について

一般家庭における使用水量の実態については、東京都水道局が公表しています。平成28年度の使用実態は以下のようになっており、多くの一般家庭は使用水量が30m³/月（60m³/2月）未満となっています。

表 1.3-1 世帯人員別の1か月あたりの平均使用水量

世帯人員	使用水量
1人	8.2m ³
2人	15.9m ³
3人	20.4m ³
4人	24.3m ³
5人	28.5m ³

出典：東京都水道局 平成28年度生活用水実態調査

表 1.3-2 小金井市の一般世帯の世帯人員

	(一般世帯)世帯数: 総数	(一般世帯)世帯数									
		世帯人員 1人	世帯人員 2人	世帯人員 3人	世帯人員 4人	世帯人員 5人	世帯人員 6人	世帯人員 7人	世帯人員 8人	世帯人員 9人	世帯人員 10人以上
世帯数	59,692	28,111	13,898	9,133	6,764	1,525	205	44	12	-	-
構成比率		47.1%	23.3%	15.3%	11.3%	2.6%	0.3%	0.1%	0.0%		

出典：平成27年度国勢調査 政府統計の総合窓口(e-Stat)

1.4. 水量区分について

水量区分について

以上をまとめると以下のとおりとなります。

- ① 近年、周辺自治体は基本水量を 8m^3 /月に切り下げ、 30m^3 /月の区分を設定している。
- ② 小金井市は周辺自治体と同様に 1 人あたりが使用する水量は 8m^3 /月程度となっている。
- ③ 一般家庭の多くは 30m^3 /月未満となっている。

上記のことから、下水道使用料体系は、使用実態に応じて以下のように見直すことが適切と考えられます。

表 1.4-1 水量区分の見直し（案）

単位： m^3 /月

現行	見直し（案） ※23区、三鷹市など
1～10	1～8
11～20	9～20
21～50	21～30
	31～50
51～100	51～100
101～200	101～200
201～500	201～500
501～1000	501～1000
1001～	1001～

2. 長期財政シミュレーション

2.1. ケース概要

今回の審議会では、前述の水量区分の見直し案に基づいた長期財政シミュレーションを行いました。今回追加したケース 2-3、ケース 2-4 及び、過去の審議会で提示した各ケースの概要を以下に示します。

表 2.1-1 各ケースの概要

ケース	改定年度、改定率	ケース概要
改定なし	—	
ケース 1-1	H42 : 18%	<ul style="list-style-type: none"> ・基金残高が 0 円となる平成 42 年度に改定。 ・水量区分は現行から変更なし。 ・各水量区分単価を一律 18%改定する。
ケース 1-2	H42 : 15% 基本水量 10m ³ /月→8m ³ /月	<ul style="list-style-type: none"> ・基金残高が 0 円となる平成 42 年度に改定。 ・基本水量を 10m³/月→8m³/月に切り下げる。 ・各水量区分単価を一律 15%改定する。
ケース 2-1	H35 : 4% H40 : 4% H45 : 5% H50 : 5% H55 : 5%	<ul style="list-style-type: none"> ・水量区分は現行から変更なし。 ・基金残高の推移が概ね 2~4 億円程度で推移するような改定率を設定。 ・改定年度は平成 35 年度以降 5 年毎とする。
ケース 2-2	H35 : 基本水量 10m ³ /月→8m ³ /月 H40 : 改定なし H45 : 4% H50 : 12% H55 : 7%	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 35 年度に基本水量を 10m³/月→8m³/月に切り下げ。 ・基金残高の推移が概ね 2~4 億円程度で推移するような改定率を設定。 ・改定年度は平成 35 年度以降 5 年毎とする。
ケース 2-3	H35 : 基本水量 10m ³ /月→8m ³ /月 31-50m ³ /月 : 120 円/m ³ H40 : 改定なし H45 : 7% H50 : 7% H55 : 7%	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 35 年度に基本水量を 10m³/月→8m³/月に切り下げ。 ・新たな水量区分 31~50m³/月は、21~30m³/月 : 105 円/m³、51~100m³/月 : 135 円/m³の間を取り、120 円/m³と設定。 ・基金残高の推移が概ね 2~4 億円程度で推移するような改定率を設定。 ・改定年度は平成 35 年度以降 5 年毎とする。 ・改定率は平滑化し、7%を採用する。

ケース	改定年度、改定率	ケース概要
ケース 2-4	H35：基本水量 10m ³ /月→8m ³ /月 31-50m ³ /月：120 円/m ³ H40：4% H45：4% H50：4% H55：4%	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 35 年度に基本水量を 10m³/月→8m³/月に切り下げ。 ・新たな水量区分 31～50m³/月は、21～30m³/月：105 円/m³、51～100m³/月：135 円/m³の間を取り、120 円/m³と設定。 ・基金残高の推移が概ね 2～4 億円程度で推移するような改定率を設定。 ・改定年度は平成 35 年度以降 5 年毎とする。 ・改定率は平滑化し、4%を採用する。

※赤文字はケース 2-2 からの主要な変更点

2.2. 長期財政シミュレーション結果

ケース 2-3、ケース 2-4 の長期財政シミュレーション結果を以下に示します。

■小金井市下水道事業 財政シミュレーション

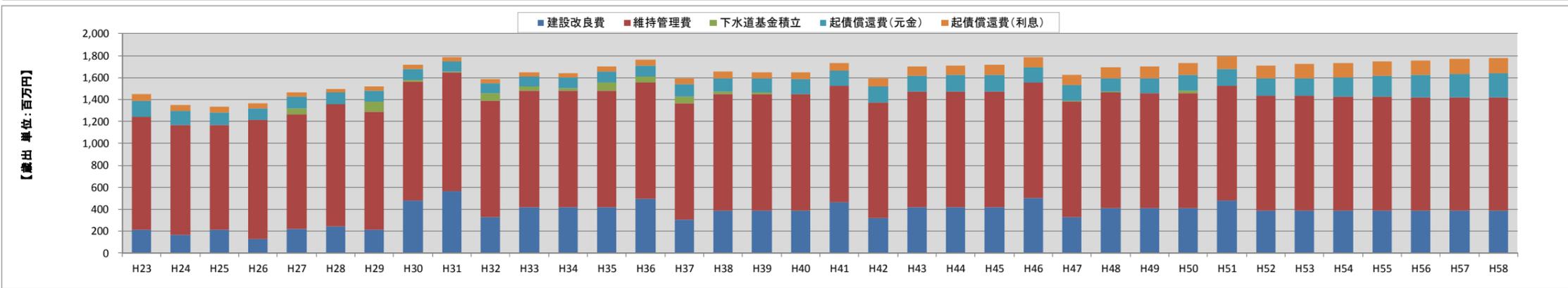
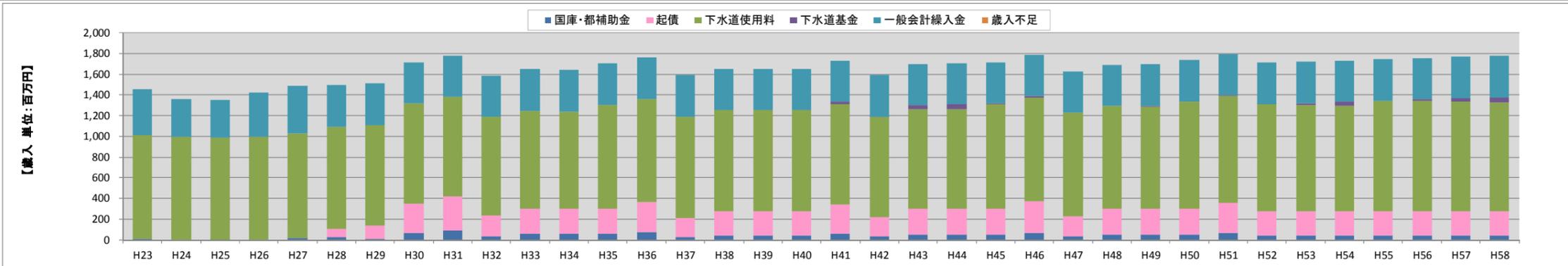
(改定ケース2-3)

【歳入】

項目/年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58	H29~H58 合計	
国庫・都補助金	10	0	3	0	18	26	10	68	86	37	55	55	55	71	26	44	44	44	60	30	50	50	50	66	31	48	48	48	63	44	44	44	44	44	44	44	1,447	
起債	0	0	0	0	0	79	130	283	337	196	248	248	248	296	183	235	235	235	283	192	251	251	251	303	197	250	250	292	235	235	235	235	235	235	235	235	7,289	
下水道使用料	999	994	988	996	1,010	986	969	964	959	953	944	937	1,001	993	984	974	972	971	969	967	964	962	1,006	1,003	1,000	996	992	1,037	1,033	1,028	1,023	1,017	1,066	1,060	1,054	1,047	29,845	
下水道基金																			22	3	34	45	10	16	0	0	8	0	8	4	19	36	0	16	35	52	308	
一般会計繰入金	446	366	363	427	462	408	406	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	12,006	
建設財源							76	126	144	97	113	113	113	129	93	110	110	110	125	95	116	116	116	132	98	114	114	114	129	111	111	111	111	111	111	111	111	3,380
その他							330	274	256	303	287	287	287	271	307	290	290	290	275	305	284	284	284	268	302	286	286	286	271	289	289	289	289	289	289	289	289	8,626
歳入不足							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,455	1,360	1,353	1,422	1,489	1,499	1,515	1,715	1,782	1,586	1,647	1,640	1,704	1,760	1,593	1,653	1,651	1,650	1,734	1,592	1,699	1,708	1,717	1,788	1,628	1,694	1,698	1,735	1,796	1,711	1,721	1,732	1,745	1,755	1,768	1,778	50,895	

【歳出】

項目/年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58	H29~H58 合計
建設改良費	211	166	216	132	218	246	216	477	567	330	416	416	416	496	302	389	389	389	468	317	417	417	417	501	326	412	412	412	484	390	390	390	390	390	390	390	12,116
維持管理費	1,036	1,004	952	1,083	1,046	1,113	1,075	1,085	1,082	1,062	1,063	1,063	1,064	1,064	1,063	1,063	1,062	1,061	1,060	1,059	1,058	1,057	1,055	1,054	1,053	1,051	1,049	1,047	1,045	1,043	1,041	1,038	1,036	1,033	1,031	1,028	31,645
下水道基金積立				56	0	91	20	4	63	36	22	80	47	60	24	12	2	0	0	0	0	0	0	0	10	6	0	24	0	0	0	1	0	0	0	502	
起債償還費	203	178	165	152	148	139	133	133	129	131	132	139	144	153	168	177	188	198	206	216	224	234	245	233	239	225	237	252	267	278	290	304	318	332	347	360	6,632
元金	143	124	115	107	107	102	99	100	97	96	95	99	99	106	116	121	128	132	137	141	145	151	157	141	141	125	132	142	152	158	167	178	190	201	214	225	4,185
利息	60	54	49	45	41	38	34	33	32	35	37	40	45	47	52	56	60	66	69	75	79	83	88	92	98	100	105	110	115	120	123	126	128	131	133	135	2,447
合計	1,449	1,348	1,332	1,367	1,468	1,499	1,515	1,715	1,782	1,586	1,647	1,640	1,704	1,760	1,593	1,653	1,651	1,650	1,734	1,592	1,699	1,708	1,717	1,788	1,628	1,694	1,698	1,735	1,796	1,711	1,721	1,732	1,745	1,755	1,768	1,778	50,895



【概要】

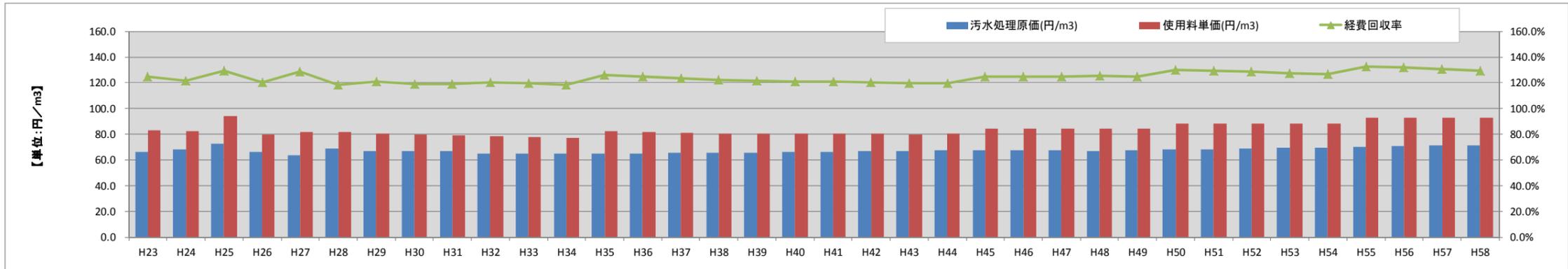
① 平成 41 年度から下水道基金の取り崩しが発生します。

② 平成 29～58 年度までの 30 年間での基金の積み立て累計額は約 5 億円となる見通しで、そこから約 3 億円が取り崩されることとなります。

■ 汚水処理費の推移

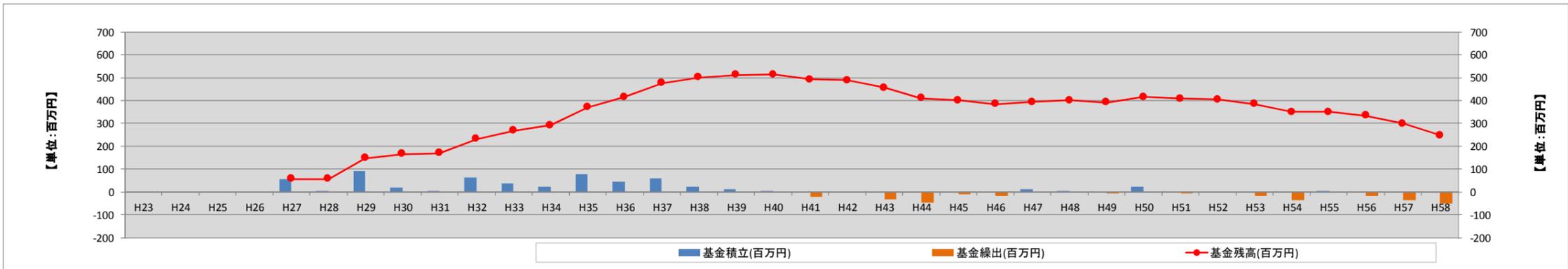
(改定ケース2-3)

項目/年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58	H29~H58 合計
有収水量(千m3)	12,067	12,043	10,518	12,446	12,365	12,038	12,064	12,089	12,115	12,141	12,154	12,168	12,181	12,178	12,174	12,154	12,134	12,114	12,094	12,074	12,039	12,005	11,970	11,936	11,902	11,851	11,801	11,751	11,701	11,651	11,590	11,529	11,468	11,407	11,346	11,277	357,058
維持管理費	1,036	1,004	952	1,083	1,046	1,113	1,075	1,085	1,082	1,062	1,063	1,063	1,064	1,064	1,063	1,063	1,062	1,061	1,060	1,059	1,058	1,057	1,055	1,054	1,053	1,051	1,049	1,047	1,045	1,043	1,041	1,038	1,036	1,033	1,031	1,028	31,645
汚水分	737	764	713	782	743	791	764	771	769	755	756	756	756	756	756	756	755	754	753	753	752	751	750	749	748	747	746	744	743	741	740	738	736	734	733	731	22,493
雨水分・その他	299	241	239	301	304	322	311	314	313	307	307	307	308	308	307	307	307	307	307	306	306	306	305	305	305	304	303	303	302	302	301	300	300	299	298	297	9,152
起償償還費	203	178	165	152	148	139	133	133	129	131	132	139	144	153	168	177	188	198	206	216	224	234	245	233	239	225	237	252	267	278	290	304	318	332	347	360	6,632
汚水分	64	54	49	44	42	40	38	38	37	35	35	35	35	35	37	40	42	43	47	50	51	54	55	53	53	48	50	54	57	59	61	65	67	70	74	77	1,517
雨水分・その他	139	124	115	108	105	99	95	95	92	96	97	104	109	116	128	135	145	151	156	165	170	179	188	180	186	177	187	198	210	219	229	239	251	262	273	283	5,115
使用料収入	999	994	988	996	1,010	986	969	963	958	952	945	938	1,000	992	984	974	972	971	969	967	964	962	1,006	1,003	1,000	996	992	1,037	1,033	1,028	1,023	1,017	1,066	1,060	1,054	1,047	29,842
汚水処理原価(円/m3)	66.4	67.9	72.4	66.4	63.5	69.0	66.5	66.9	66.5	65.1	65.1	65.0	64.9	65.1	65.4	65.7	65.8	66.1	66.4	66.6	66.9	67.1	67.4	67.2	67.3	67.1	67.5	67.9	68.4	68.7	69.1	69.7	70.0	70.5	71.1	71.7	
維持管理分	61.1	63.4	67.8	62.8	60.1	65.7	63.3	63.8	63.5	62.2	62.2	62.1	62.1	62.1	62.1	62.2	62.2	62.2	62.3	62.4	62.5	62.6	62.7	62.8	62.8	63.0	63.2	63.3	63.5	63.6	63.8	64.0	64.2	64.3	64.6	64.8	
資本費分	5.3	4.5	4.7	3.5	3.4	3.3	3.1	3.1	3.1	2.9	2.9	2.9	2.9	3.0	3.3	3.5	3.5	3.9	4.1	4.2	4.5	4.6	4.8	4.4	4.5	4.1	4.2	4.6	4.9	5.1	5.3	5.6	5.8	6.1	6.5	6.8	
使用料単価(円/m3)	82.8	82.5	93.9	80.0	81.7	81.9	80.3	79.7	79.1	78.4	77.8	77.1	82.1	81.5	80.8	80.1	80.1	80.2	80.1	80.1	80.1	80.1	84.0	84.0	84.0	84.0	84.1	88.2	88.3	88.2	88.3	88.2	93.0	92.9	92.8		
経費回収率	124.7%	121.5%	129.6%	120.5%	128.6%	118.6%	120.8%	119.0%	118.9%	120.5%	119.5%	118.6%	128.4%	125.1%	123.6%	122.1%	121.8%	121.2%	120.7%	120.3%	119.6%	119.4%	124.7%	125.1%	124.8%	125.3%	124.6%	129.9%	129.1%	128.5%	127.7%	126.7%	132.8%	131.8%	130.6%	129.6%	



■ 基金残高の推移

項目/年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58	H29~H58 合計
基金残高(百万円)					56	56	147	166	169	231	268	291	370	416	476	500	512	514	492	489	455	410	400	384	394	400	392	416	408	404	385	349	350	334	299	247	
基金積立(百万円)					56	0	91	19	3	62	37	23	79	46	60	24	12	2	0	0	0	0	0	10	6	0	24	0	0	0	0	1	0	0	0	499	
基金繰出(百万円)					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	3	34	45	10	16	0	0	8	0	8	4	19	36	0	16	35	52	308



【概要】

① 基金積立額のピークは平成40年度の約5億円となり、その後は年度によって歳入不足分を補てんするため、基金の取り崩しが生じます。

② 経費回収率は概ね現行と同程度で推移する見通しであり、100%以上を維持します。

■小金井市下水道事業 財政シミュレーション

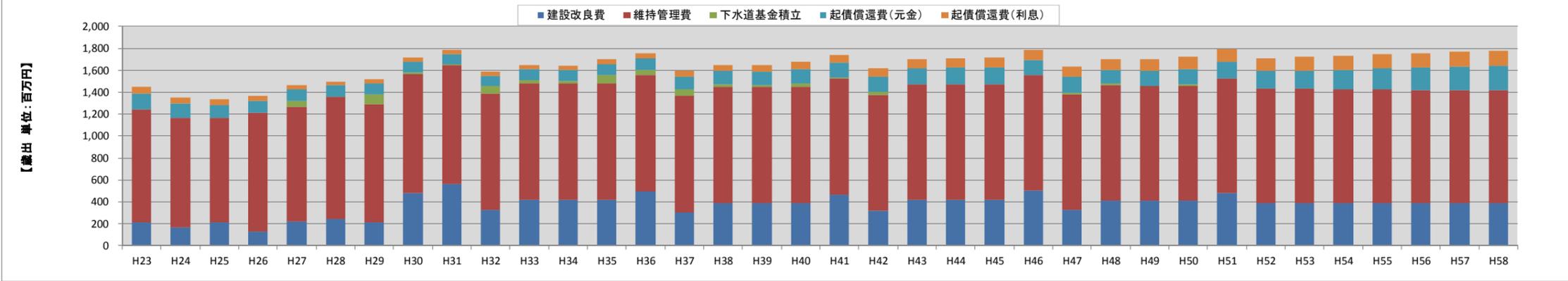
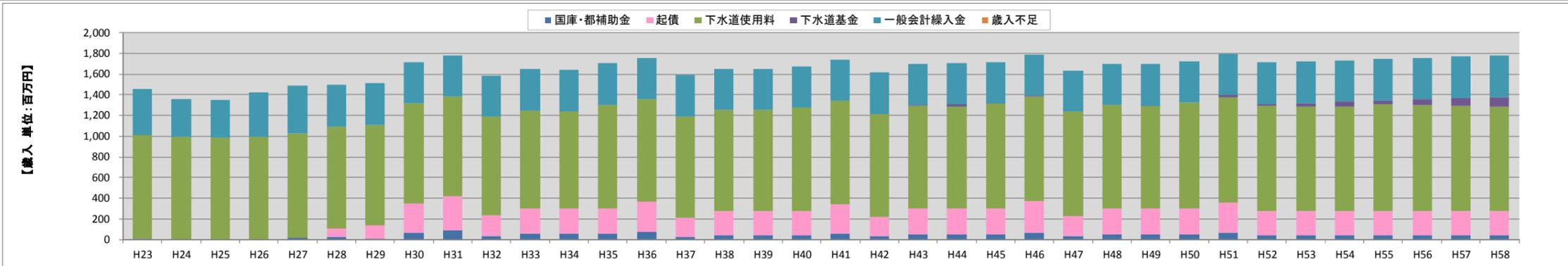
(改定ケース2-4)

【歳入】

項目/年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58	H29~H58 合計		
国庫・都補助金	10	0	3	0	18	26	10	68	86	37	55	55	55	71	26	44	44	44	60	30	50	50	50	66	31	48	48	48	63	44	44	44	44	44	44	44	1,447		
起債	0	0	0	0	0	79	130	283	337	196	248	248	248	296	183	235	235	235	283	192	251	251	251	303	197	250	250	250	292	235	235	235	235	235	235	235	7,289		
下水道使用料	999	994	988	996	1,010	986	969	964	959	953	943	936	1,001	991	983	973	971	998	996	995	991	989	1,014	1,011	1,008	1,004	999	1,025	1,020	1,016	1,011	1,005	1,029	1,023	1,018	1,011	29,806		
下水道基金																						7	18	2	8	0	0	1	0	21	16	31	48	36	53	71	88	400	
一般会計繰入金	446	366	363	427	462	408	406	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	12,006		
建設財源							76	126	144	97	113	113	113	129	93	110	110	110	125	95	116	116	116	132	98	114	114	114	129	111	111	111	111	111	111	111	111	3,380	
その他							330	274	256	303	287	287	287	271	307	290	290	290	275	305	284	284	284	268	302	286	286	286	271	289	289	289	289	289	289	289	289	8,626	
歳入不足							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,455	1,360	1,353	1,422	1,489	1,499	1,515	1,715	1,782	1,586	1,646	1,639	1,704	1,758	1,592	1,652	1,650	1,677	1,739	1,617	1,699	1,708	1,717	1,788	1,636	1,702	1,698	1,723	1,796	1,711	1,721	1,732	1,744	1,755	1,768	1,778	50,948		

【歳出】

項目/年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58	H29~H58 合計
建設改良費	211	166	216	132	218	246	216	477	567	330	416	416	416	496	302	389	389	389	468	317	417	417	417	501	326	412	412	412	484	390	390	390	390	390	390	390	12,116
維持管理費	1,036	1,004	952	1,083	1,046	1,113	1,075	1,085	1,082	1,062	1,063	1,063	1,064	1,064	1,063	1,062	1,061	1,060	1,059	1,058	1,057	1,055	1,054	1,053	1,053	1,051	1,049	1,047	1,045	1,043	1,041	1,038	1,036	1,033	1,031	1,028	31,645
下水道基金積立				56	0	91	20	4	63	35	21	80	45	59	23	11	29	5	25	0	0	0	0	0	18	14	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	
起債償還費	203	178	165	152	148	139	133	133	129	131	132	139	144	153	168	177	188	198	206	216	224	234	245	233	239	225	237	252	267	278	290	304	318	332	347	360	6,632
元金	143	124	115	107	107	102	99	100	97	96	95	99	99	106	116	121	128	132	137	141	145	151	157	141	141	125	132	142	152	158	167	178	190	201	214	225	4,185
利息	60	54	49	45	41	38	34	33	32	35	37	40	45	47	52	56	60	66	69	75	79	83	88	92	98	100	105	110	115	120	123	126	128	131	133	135	2,447
合計	1,449	1,348	1,332	1,367	1,468	1,499	1,515	1,715	1,782	1,586	1,646	1,639	1,704	1,758	1,592	1,652	1,650	1,677	1,739	1,617	1,699	1,708	1,717	1,788	1,636	1,702	1,698	1,723	1,796	1,711	1,721	1,732	1,744	1,755	1,768	1,778	50,948



【概要】

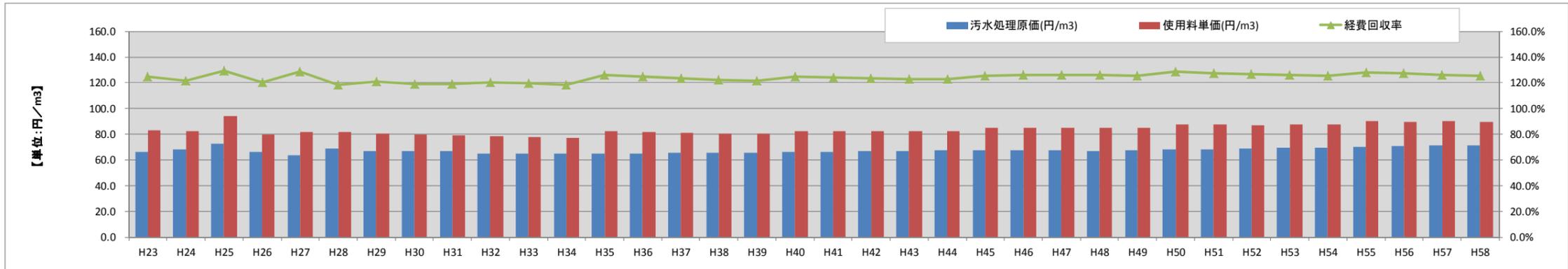
① 平成 43 年度から下水道基金の取り崩しが発生します。

② 平成 29~58 年度までの 30 年間で基金の積み立て累計額は約 5.6 億円となる見通しで、そこから約 4 億円が取り崩されることとなります。

■汚水処理費の推移

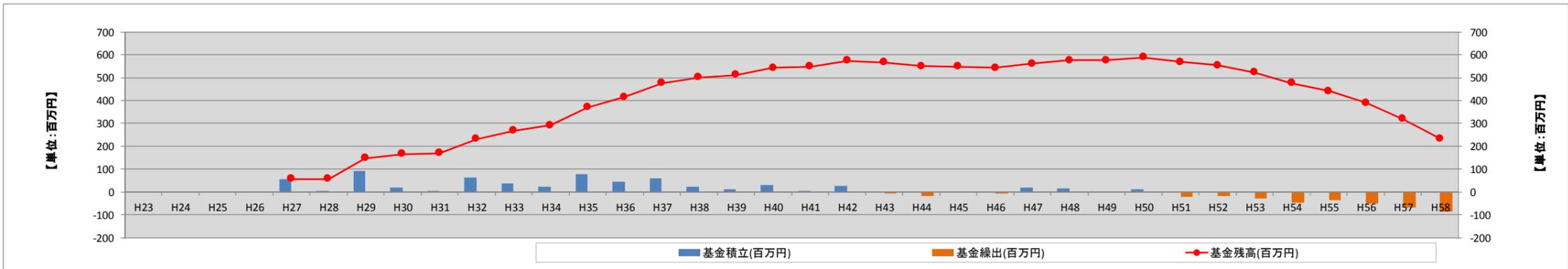
(改定ケース2-4)

項目/年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58	H29~H58 合計
有収水量(千m3)	12,067	12,043	10,518	12,446	12,365	12,038	12,064	12,089	12,115	12,141	12,154	12,168	12,181	12,178	12,174	12,154	12,134	12,114	12,094	12,074	12,039	12,005	11,970	11,936	11,902	11,851	11,801	11,751	11,701	11,651	11,590	11,529	11,468	11,407	11,346	11,277	357,058
維持管理費	1,036	1,004	952	1,083	1,046	1,113	1,075	1,085	1,082	1,062	1,063	1,063	1,064	1,064	1,063	1,063	1,062	1,061	1,060	1,059	1,058	1,057	1,055	1,054	1,053	1,051	1,049	1,047	1,045	1,043	1,041	1,038	1,036	1,033	1,031	1,028	31,645
汚水分	737	764	713	782	743	791	764	771	769	755	756	756	756	756	756	756	755	754	753	753	752	751	750	749	748	747	746	744	743	741	740	738	736	734	733	731	22,493
雨水分・その他	299	241	239	301	304	322	311	314	313	307	307	307	308	308	307	307	307	307	306	306	306	306	305	305	305	304	303	303	302	302	301	300	300	299	298	297	9,152
起償償還費	203	178	165	152	148	139	133	133	129	131	132	139	144	153	168	177	188	198	206	216	224	234	245	233	239	225	237	252	267	278	290	304	318	332	347	360	6,632
汚水分	64	54	49	44	42	40	38	38	37	35	35	35	35	35	37	40	42	43	47	50	51	54	55	57	53	48	50	54	57	59	61	65	67	70	74	77	1,517
雨水分・その他	139	124	115	108	105	99	95	95	92	96	97	104	109	116	128	135	145	151	156	165	170	179	188	180	186	177	187	198	210	219	229	239	251	262	273	283	5,115
使用料収入	999	994	988	996	1,010	986	969	963	958	952	945	938	1,000	992	984	974	972	999	997	995	992	990	1,015	1,012	1,009	1,005	1,000	1,026	1,021	1,016	1,012	1,006	1,030	1,024	1,019	1,012	29,827
汚水処理原価(円/m3)	66.4	67.9	72.4	66.4	63.5	69.0	66.5	66.9	66.5	65.1	65.1	65.0	64.9	65.1	65.4	65.7	65.8	66.1	66.4	66.6	66.9	67.1	67.4	67.2	67.3	67.1	67.5	67.9	68.4	68.7	69.1	69.7	70.0	70.5	71.1	71.7	
維持管理分	61.1	63.4	67.8	62.8	60.1	65.7	63.3	63.8	63.5	62.2	62.2	62.1	62.1	62.1	62.1	62.2	62.2	62.2	62.3	62.4	62.5	62.6	62.7	62.8	62.8	63.0	63.2	63.3	63.5	63.6	63.8	64.0	64.2	64.3	64.6	64.8	
資本費分	5.3	4.5	4.7	3.5	3.4	3.3	3.1	3.1	3.1	2.9	2.9	2.9	2.9	3.0	3.3	3.5	3.5	3.9	4.1	4.2	4.5	4.6	4.8	4.4	4.5	4.1	4.2	4.6	4.9	5.1	5.3	5.6	5.8	6.1	6.5	6.8	
使用料単価(円/m3)	82.8	82.5	93.9	80.0	81.7	81.9	80.3	79.7	79.1	78.4	77.8	77.1	82.1	81.5	80.8	80.1	80.1	82.5	82.4	82.4	82.4	82.5	84.8	84.8	84.8	84.8	84.8	84.7	87.3	87.3	87.2	87.3	87.3	89.8	89.8	89.7	
経費回収率	124.7%	121.5%	129.6%	120.5%	128.6%	118.6%	120.8%	119.0%	118.9%	120.5%	119.5%	118.6%	126.4%	125.1%	123.6%	122.1%	121.8%	124.7%	124.2%	123.8%	123.1%	122.8%	125.8%	126.2%	126.0%	126.4%	125.6%	128.6%	127.6%	127.0%	126.3%	125.3%	128.3%	127.4%	126.3%	125.2%	



■基金残高の推移

項目/年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58	H29~H58 合計
基金残高(百万円)					56	56	147	166	169	231	268	291	370	416	476	500	512	542	548	573	567	550	549	542	561	576	576	589	569	553	523	476	441	389	319	232	
基金積立(百万円)					56	0	91	19	3	62	37	23	79	46	60	24	12	30	6	25	0	0	0	0	19	15	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	564
基金繰出(百万円)					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	17	1	7	0	0	0	0	20	16	30	47	35	52	70	87	388



【概要】

① 基金積立額のピークは平成 50 年度の約 5.8 億円となり、その後は年度によって歳入不足分を補てんするため、基金の取り崩しが生じます。

② 経費回収率は概ね現行と同程度で推移する見通しであり、100%以上を維持します。

2.3. 各ケースの比較

各ケースの改定率、基金残高、使用料単価、経費回収率、下水道使用料のモデルケースを以下に示します。

2.3.1. 改定率の推移

平成 58 年度における平成 28 年度を基準とした改定率は、ケース 2-3 は 22.5%、ケース 2-4 は 17.0%となります。

改定率の推移

項目/年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58		
改定なし																																						
ケース1-1																				18%																		
累計の改定率																				18.0%	18.0%	18.0%	18.0%	18.0%	18.0%	18.0%	18.0%	18.0%	18.0%	18.0%	18.0%	18.0%	18.0%	18.0%	18.0%	18.0%		
ケース1-2																				15%																		
累計の改定率																				15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%		
ケース2-1													4%						4%					5%													5%	
累計の改定率													4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	8.2%	8.2%	8.2%	8.2%	8.2%	13.6%	13.6%	13.6%	13.6%	13.6%	19.2%	19.2%	19.2%	19.2%	19.2%	25.2%	25.2%	25.2%	25.2%		
ケース2-2																								7%													5%	
累計の改定率																							7.0%	7.0%	7.0%	7.0%	7.0%	17.7%	17.7%	17.7%	17.7%	17.7%	23.6%	23.6%	23.6%	23.6%		
ケース2-3																								7%													7%	
累計の改定率																							7.0%	7.0%	7.0%	7.0%	7.0%	14.5%	14.5%	14.5%	14.5%	14.5%	22.5%	22.5%	22.5%	22.5%		
ケース2-4																			4%					4%													4%	
累計の改定率																		4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	4.0%	8.2%	8.2%	8.2%	8.2%	8.2%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	12.5%	17.0%	17.0%	17.0%	17.0%		

※ ケース1-2は、平成42年度に基本水量を10m3から8m3に引き下げている。

※ ケース2-2、ケース2-3、ケース2-4は、平成35年度に基本水量を10m3から8m3に引き下げている。

※ ケース2-3、ケース2-4は、平成35年度に21～30m3/月、31～50m3/月の使用料体系とし、31～50m3/月は120円/m3としている。

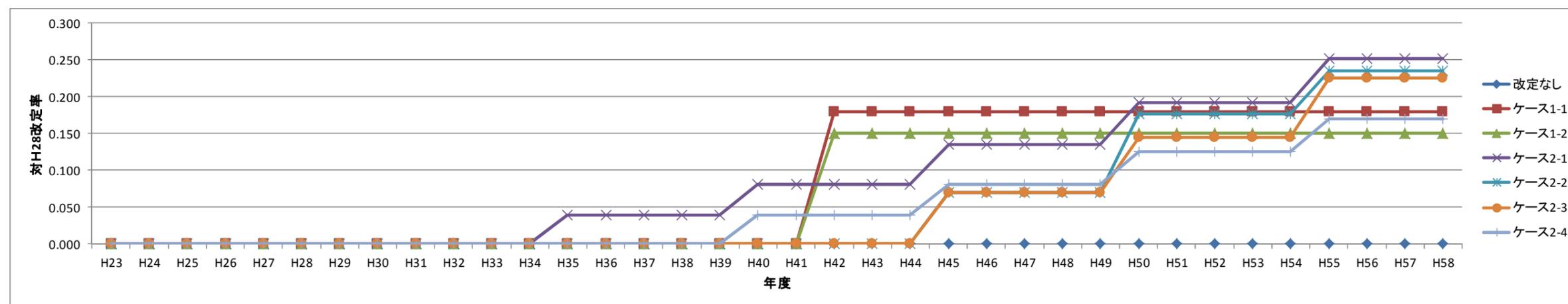
※ 改定率は、改定前年度の単価に対する改定率を示している。なお、基本水量の引き下げによる使用料の増加は示していない。

例) ケース2-1

H35(4%改定) 現行 × 1.04

H40(4%改定) 現行 × 1.04 × 1.04 = 現行 × 1.0816

(H39)



2.3.2. 基金残高の推移

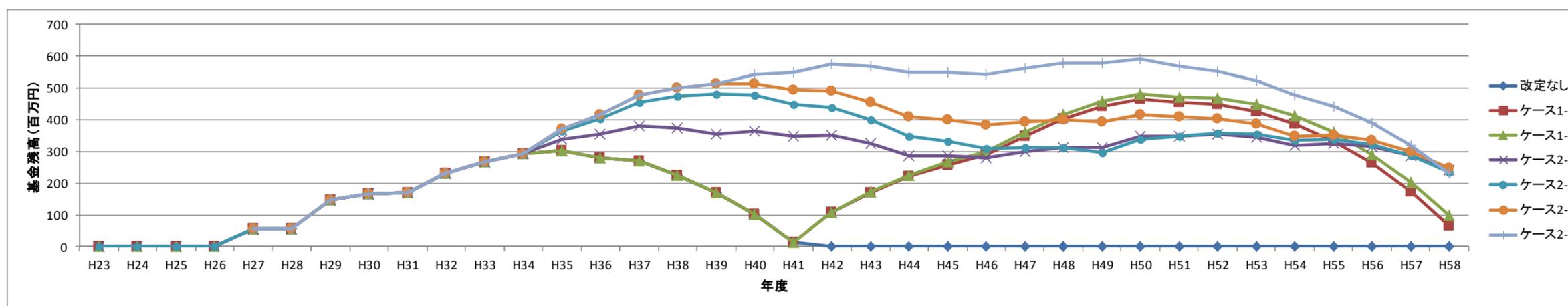
基金残高の推移が最も高い水準で推移するケースはケース 2-4 となります。

これは、新たに設定する 31~50m³/月の区分の使用料単価を現行の 105 円/m³から 120 円/m³に改定することや、ケース 2-4 は他のケースと比較して早い段階（H40 年度）から改定を行っていることが要因として挙げられます。

基金残高

単位: 百万円

項目/年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58		
改定なし					56	56	147	166	169	231	268	291	301	278	269	225	169	103	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ケース1-1					56	56	147	166	169	231	268	291	301	278	269	225	169	103	13	107	169	220	258	290	348	402	441	463	453	447	426	388	333	262	173	67		
ケース1-2					56	56	147	166	169	231	268	291	301	278	269	225	169	103	13	109	173	226	266	300	360	416	457	481	472	468	449	413	360	290	202	98		
ケース2-1					56	56	147	166	169	231	268	291	339	353	381	374	355	364	348	352	325	287	286	279	298	313	313	347	348	353	344	318	325	315	287	242		
ケース2-2					56	56	147	166	169	231	268	291	364	403	456	474	480	476	447	438	398	347	331	308	312	312	297	338	346	358	355	336	337	321	286	234		
ケース2-3					56	56	147	166	169	231	268	291	370	416	476	500	512	514	492	489	455	410	400	384	394	400	392	416	408	404	385	349	350	334	299	247		
ケース2-4					56	56	147	166	169	231	268	291	370	416	476	500	512	542	548	573	567	550	549	542	561	576	576	589	569	553	523	476	441	389	319	232		



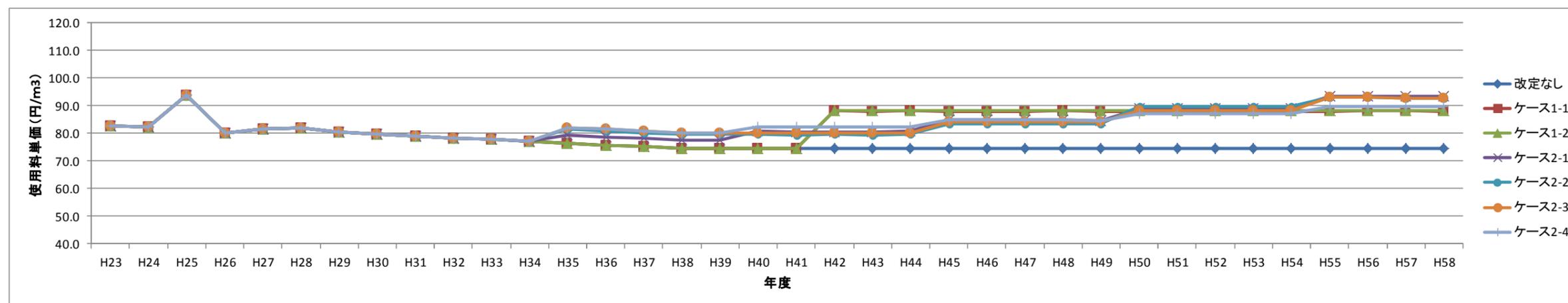
2.3.3. 使用料単価の推移

ケース2-3、ケース2-4は平成35年度に水量区分の見直しを行っているため、H35～H39の期間では他のケースと比較して最も高い水準で推移しますが、段階的に改定を行っているため、各改定は大幅な改定とはなっていません。

※使用料単価：1年間の全使用料収入を、1年間の有収水量で割り戻した、1m³当たりの使用料。

使用料単価		単位:円/m ³																																						
項目/年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58				
改定なし	82.8	82.5	93.9	80.0	81.7	81.9	80.3	79.7	79.1	78.4	77.8	77.1	76.4	75.8	75.2	74.5	74.5	74.5	74.5	74.5	74.5	74.6	74.5	74.5	74.5	74.5	74.5	74.5	74.5	74.5	74.5	74.5	74.5	74.5	74.5	74.5	74.5	74.5		
ケース1-1	82.8	82.5	93.9	80.0	81.7	81.9	80.3	79.7	79.1	78.4	77.8	77.1	76.4	75.8	75.2	74.5	74.5	74.5	74.5	88.1	88.0	88.1	88.1	88.1	88.1	88.1	88.0	88.1	88.1	88.1	88.1	88.1	88.0	88.1	88.1	88.1	88.1	88.1	88.1	
ケース1-2	82.8	82.5	93.9	80.0	81.7	81.9	80.3	79.7	79.1	78.4	77.8	77.1	76.4	75.8	75.2	74.5	74.5	74.5	74.5	88.3	88.2	88.3	88.2	88.2	88.2	88.2	88.3	88.2	88.2	88.2	88.3	88.2	88.2	88.3	88.2	88.2	88.2	88.2	88.2	88.2
ケース2-1	82.8	82.5	93.9	80.0	81.7	81.9	80.3	79.7	79.1	78.4	77.8	77.1	79.6	78.8	78.2	77.6	77.6	80.7	80.6	80.7	80.7	80.7	84.8	84.8	84.8	84.8	84.7	89.1	89.1	89.0	89.1	89.1	89.1	89.1	89.1	93.5	93.5	93.5	93.5	
ケース2-2	82.8	82.5	93.9	80.0	81.7	81.9	80.3	79.7	79.1	78.4	77.8	77.1	81.6	80.9	80.3	79.6	79.6	79.7	79.5	79.6	79.6	79.6	83.5	83.4	83.5	83.5	83.5	89.7	89.7	89.6	89.6	89.7	93.0	92.9	92.9	92.8				
ケース2-3	82.8	82.5	93.9	80.0	81.7	81.9	80.3	79.7	79.1	78.4	77.8	77.1	82.1	81.5	80.8	80.1	80.1	80.2	80.1	80.1	80.1	80.1	84.0	84.0	84.0	84.0	84.1	88.2	88.3	88.2	88.3	88.2	93.0	92.9	92.9	92.8				
ケース2-4	82.8	82.5	93.9	80.0	81.7	81.9	80.3	79.7	79.1	78.4	77.8	77.1	82.1	81.5	80.8	80.1	80.1	82.5	82.4	82.4	82.4	82.5	84.8	84.8	84.8	84.8	84.7	87.3	87.3	87.2	87.3	87.3	89.8	89.8	89.8	89.7				

※使用料単価は、平成38年度までは近年の実績をベースに0.8%ずつ減少していくと想定



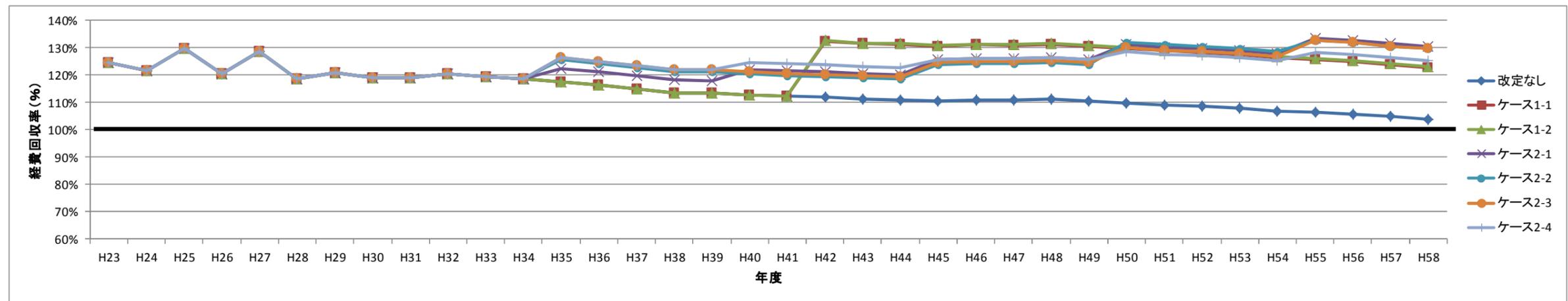
2.3.4. 経費回収率の推移

経費回収率はいずれのケースにおいても100%を上回っており、使用料対象経費を使用料収入で回収できる見通しとなります。

経費回収率

単位：%

項目/年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58	
改定なし	125%	121%	130%	121%	129%	119%	121%	119%	119%	121%	119%	119%	118%	116%	115%	114%	113%	113%	112%	112%	111%	111%	111%	111%	111%	111%	110%	110%	109%	109%	108%	107%	106%	106%	105%	104%	
ケース1-1	125%	121%	130%	121%	129%	119%	121%	119%	119%	121%	119%	119%	118%	116%	115%	114%	113%	113%	112%	132%	132%	132%	131%	131%	131%	131%	131%	130%	129%	128%	127%	126%	126%	125%	124%	123%	
ケース1-2	125%	121%	130%	121%	129%	119%	121%	119%	119%	121%	119%	119%	118%	116%	115%	114%	113%	113%	112%	133%	132%	132%	131%	131%	131%	131%	132%	131%	130%	129%	128%	127%	126%	126%	125%	124%	123%
ケース2-1	125%	121%	130%	121%	129%	119%	121%	119%	119%	121%	119%	119%	123%	121%	120%	118%	118%	122%	121%	121%	120%	120%	126%	126%	126%	126%	126%	126%	131%	130%	130%	129%	128%	133%	133%	131%	130%
ケース2-2	125%	121%	130%	121%	129%	119%	121%	119%	119%	121%	119%	119%	126%	124%	123%	121%	121%	120%	120%	120%	119%	119%	124%	124%	124%	125%	124%	132%	131%	131%	130%	129%	133%	132%	131%	130%	
ケース2-3	125%	121%	130%	121%	129%	119%	121%	119%	119%	121%	119%	119%	126%	125%	124%	122%	122%	121%	121%	120%	120%	119%	125%	125%	125%	125%	125%	130%	129%	129%	128%	127%	133%	132%	131%	130%	
ケース2-4	125%	121%	130%	121%	129%	119%	121%	119%	119%	121%	119%	119%	126%	125%	124%	122%	122%	125%	124%	124%	123%	123%	126%	126%	126%	126%	126%	126%	129%	128%	127%	126%	125%	128%	127%	126%	125%



2.3.5. 下水道使用料のモデルケース

モデルケースとして、8m³/月（1人世帯程度）、24m³/月（4人世帯程度）使用者の下水道使用料を下表に示します。

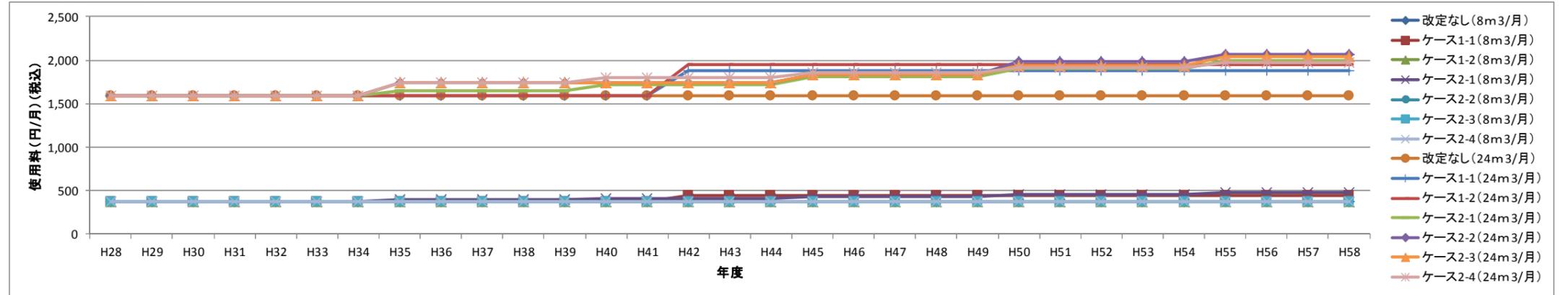
24m³/月（4人世帯程度）のケース2-4はH40～H50まではケース2-3と比較して若干高くなりますが、H50以降は逆転し、ケース2-3の方が高くなります。（ケース2-4の方が将来的に安価。）

下水道使用料(円/月)モデルケース

単位:円/月(税込)

項目/年度		H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58		
8m ³ /月 (1人世帯程度)	改定なし	使用料	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	
		増加額(対H28)																																
		増加率(対H28)																																
	ケース1-1	使用料	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	446	
		増加額(対H28)															68	68	68	68	68	68	68	68	68	68	68	68	68	68	68	68	68	
		増加率(対H28)															18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	
	ケース1-2	使用料	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	
		増加額(対H28)																																
		増加率(対H28)																																
	ケース2-1	使用料	378	378	378	378	378	378	378	393	393	393	393	393	409	409	409	409	409	429	429	429	429	429	451	451	451	451	451	474	474	474	474	
		増加額(対H28)								15	15	15	15	15	31	31	31	31	31	51	51	51	51	51	73	73	73	73	73	96	96	96	96	
		増加率(対H28)								4%	4%	4%	4%	4%	8%	8%	8%	8%	8%	13%	13%	13%	13%	13%	19%	19%	19%	19%	19%	25%	25%	25%	25%	
	ケース2-2	使用料	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	
		増加額(対H28)																																
増加率(対H28)																																		
ケース2-3	使用料	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378		
	増加額(対H28)																																	
	増加率(対H28)																																	
ケース2-4	使用料	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378	378		
	増加額(対H28)																																	
	増加率(対H28)																																	
24m ³ /月 (4人世帯程度)	改定なし	使用料	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587			
		増加額(対H28)																																
		増加率(対H28)																																
	ケース1-1	使用料	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,878	1,878	1,878	1,878	1,878	1,878	1,878	1,878	1,878	1,878	1,878	1,878	1,878	1,878	1,878	1,878		
		増加額(対H28)															291	291	291	291	291	291	291	291	291	291	291	291	291	291	291	291		
		増加率(対H28)															18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	18%	
	ケース1-2	使用料	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950		
		増加額(対H28)															363	363	363	363	363	363	363	363	363	363	363	363	363	363	363	363		
		増加率(対H28)															23%	23%	23%	23%	23%	23%	23%	23%	23%	23%	23%	23%	23%	23%	23%	23%		
	ケース2-1	使用料	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,652	1,652	1,652	1,652	1,652	1,718	1,718	1,718	1,718	1,718	1,807	1,807	1,807	1,807	1,807	1,898	1,898	1,898	1,898	1,990	1,990	1,990	1,990		
		増加額(対H28)								65	65	65	65	65	131	131	131	131	131	220	220	220	220	220	311	311	311	311	403	403	403	403		
		増加率(対H28)								4%	4%	4%	4%	4%	8%	8%	8%	8%	8%	14%	14%	14%	14%	14%	20%	20%	20%	20%	25%	25%	25%	25%		
	ケース2-2	使用料	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,738	1,738	1,738	1,738	1,738	1,738	1,738	1,738	1,738	1,738	1,833	1,833	1,833	1,833	1,833	1,985	1,985	1,985	1,985	2,062	2,062	2,062	2,062		
		増加額(対H28)								151	151	151	151	151	151	151	151	151	151	246	246	246	246	246	398	398	398	398	475	475	475	475		
増加率(対H28)									10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	16%	16%	16%	16%	16%	25%	25%	25%	25%	30%	30%	30%	30%			
ケース2-3	使用料	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,738	1,738	1,738	1,738	1,738	1,738	1,738	1,738	1,738	1,738	1,833	1,833	1,833	1,833	1,833	1,933	1,933	1,933	1,933	2,045	2,045	2,045	2,045			
	増加額(対H28)								151	151	151	151	151	151	151	151	151	151	246	246	246	246	246	346	346	346	346	458	458	458	458			
	増加率(対H28)								10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	16%	16%	16%	16%	16%	22%	22%	22%	22%	29%	29%	29%	29%			
ケース2-4	使用料	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,587	1,738	1,738	1,738	1,738	1,738	1,794	1,794	1,794	1,794	1,794	1,851	1,851	1,851	1,851	1,851	1,911	1,911	1,911	1,911	1,972	1,972	1,972	1,972			
	増加額(対H28)								151	151	151	151	151	207	207	207	207	207	264	264	264	264	264	324	324	324	324	385	385	385	385			
	増加率(対H28)								10%	10%	10%	10%	10%	13%	13%	13%	13%	13%	17%	17%	17%	17%	17%	20%	20%	20%	20%	24%	24%	24%	24%			

※消費税は8%として試算している。



2.4. 周辺自治体の使用料体系との比較

これまでに検討したケースの使用料体系を周辺自治体と比較すると以下のとおりとなります。

表 2.4-1 周辺自治体の使用料体系の比較

項目/市名	小金井市	ケース1-1	ケース1-2	ケース2-1 (H35)	ケース2-2 (H35)	ケース2-3, ケース2-4 (H35)	23区	三鷹市	武蔵野市	西東京市	調布市	国分寺市	府中市	小平市
基本使用料(円) (基本水量)	350 (10m ³ /月)	413 (10m ³ /月)	350 (8m ³ /月)	413 (10m ³ /月)	350 (8m ³ /月)	350 (8m ³ /月)	560 (8m ³ /月)	400 (8m ³ /月)	470 (8m ³ /月)	410 (8m ³ /月)	350 (10m ³ /月)	545 (10m ³ /月)	266 (10m ³ /月)	455 (10m ³ /月)
従量 単価 (円/m ³)	8													
	10			81		70	110	62	50	88				
	20	70	83		73						81	100	56	105
	30			121		105	140	86	60	126		115		
	50	105	124		109	105	170	97	70	157	98	125	76	125
	100	135	159	155	140	135	200	126	80	189	125	170	95	155
	200	170	201	196	177	170	230	144	95	239	144	200	116	175
	500	210	248	242	218	210	270	204	110	283	172	240	141	210
	1,000	250	295	288	260	250	310	245	135	306	201	280	166	250
	2,000								283					
5,000	290	342	334	302	290	290	345	308	190	328	227	330	192	285
累進度	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	3.1	5.0	3.8	3.7	2.8	3.3	3.4	2.7

※ケース 2-1～2-4 は、平成 35 年度における使用料体系を示している。

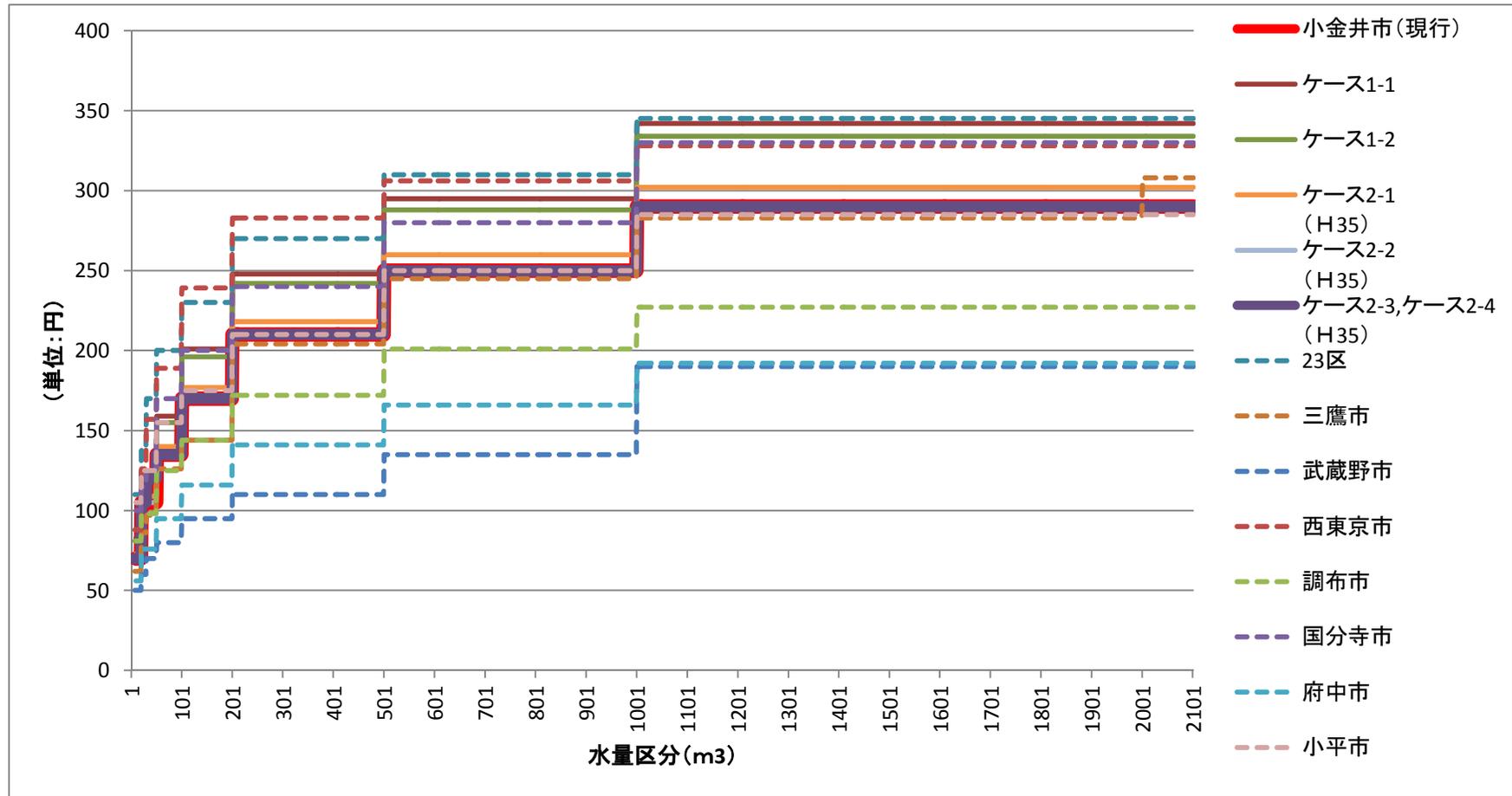
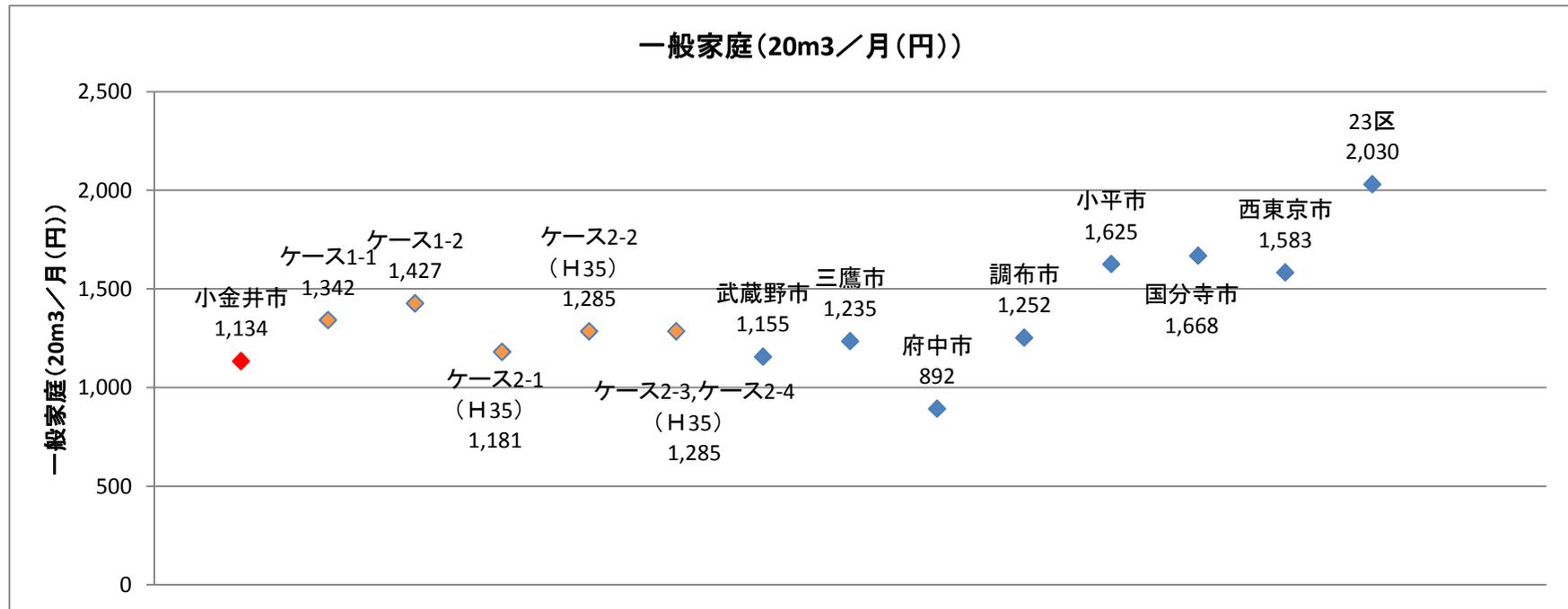


図 2.4-1 周辺自治体の使用料体系（従量単価）の比較

表 2.4-2 周辺自治体の一般家庭（20m³/月）の使用料

	小金井市	ケース1-1	ケース1-2	ケース2-1 (H35)	ケース2-2 (H35)	ケース2-3, ケース2-4 (H35)	武蔵野市	三鷹市	府中市	調布市	小平市	国分寺市	西東京市	23区
一般家庭 20m ³ /月(円)	1,134	1,342	1,427	1,181	1,285	1,285	1,155	1,235	892	1,252	1,625	1,668	1,583	2,030
現行使用料 施行年月日	H.12. 4. 1						H.28. 4. 1	H.26. 4. 1	H.17. 7. 1	H.12. 4. 1	H.14. 4. 1	H.16. 1. 1	H.23.10. 1	H.10. 6. 1

※使用料は消費税込(消費税率8%として試算)



3. 審議会スケジュール

3.1. 審議会スケジュール

表 3.1-1 審議会スケジュール

	年	月日	概要
第1回	H28	11月22日(火) 13:30～	審議会立ち上げ、現状分析
第2回		12月19日(月) 15:00～	長期財政計画、算定方針
第3回	H29	2月14日(火) 15:00～	長期財政計画、算定方針
第4回		3月21日(火) 13:30～	将来方針の検討
第5回		4月24日(月) 13:30～	将来方針の検討
第6回		7月24日(月) 14:00～	将来方針の検討(最終方針)
第7回		9月中旬	答申(案)の検討
第8回		11月上旬	答申の提示